

天野なつ with Spencer

■コンセプト

60sモッド・R&B～70sソウルの熱さと、ビンテージロックの香り漂うロマンチックなガールポップを、イナたいバンドサウンドに乗せて、天野なつをソロシンガーシーンに送り込みます。

■Spencer

天野なつソロシンガー化プロジェクトのためのプロデュースチームであり、バンド。

名前の由来は60s UKのモッズ/R&Bバンド「Spencer Davis GROUP」に由来。

参加ミュージシャンは

- ・松尾宗能：作編曲、ベース、プログラミング

1993年インスタントシトロン結成。脱退後、レコードショップを経営する傍ら、ガールポップレーベル[Parks Records]を立ち上げ。またラジオパーソナリティとして好き勝手に色んな局に出演して怒られたりもしている。星野みちる、963、MI6、浦郷えりか、彼女のサーブ&彼女のレシーブ、深瀬智聖&スパイシー丸山、他への楽曲提供及びサウンドプロデュース。

- ・長瀬五郎：作編曲、ギター、プログラミング

1995年インスタントシトロンでメジャーデビュー、5枚のオリジナルアルバムをリリースする傍ら、ゲーム、アニメ等のサントラを手がける。近年はMI6、浦郷えりか、彼女のサーブ&彼女のレシーブ等地元福岡のアイドルへの楽曲提供が話題に。

- ・マエストロ・チャン：作編曲、ドラムス、パーカッション、プログラミング

福岡の名門ダブ・ファンク・リゾート・パーティーバンド、ノントロップのドラマーとして、またシンガー、プロデューサーとしても精力的に幅広く活動し、ポップスからノイズまで様々なミュージシャンを手がけている。

- ・太田洋平：ピアノ、オルガン、キーボード

ノントロップのキーボーディストとして、また福岡のクラブでは知らぬもののないバンド、コレテコのキーボーディストとして、世界的な評価を得ている。

- ・小川貴史：ギター、プログラミング

福岡の00年代ネオモッズシーンを牽引したR&Bバンド、ザ・ヤングのギタリストとしてキャリアをスタートさせた後、早すぎたシティポップバンド、カンバスを結成。INO hidefumiとのコラボ曲や、オートウェイのWEB CMなどで軽くバズった後、現在は東京のポップスシーンの中心部で活動中。

■ミックス&マスタリング

- ・佐藤清喜

1993年nice musicのメンバーとしてメジャーデビュー後、microstar結成。日本のポップス、ソフロックの一つの到達点として高く評価される。

近年は、星野みちる、脇田もなり、SOLEILらへの楽曲提供とミックス、あヴぁんだんど、ELLIE、SOLEILのミックスやマスタリングなど、エヴァーグリーンなポップスの音作りは高く評価されている。

「Open My Eyes ep」

Track 1 Open My Eyes

60sスタイルのmotown～ノーザンソウルのテイストを、80sネオモッズ的なスピード感とソフロックのハーモニーで仕上げた曲。

天野なつのダイアナロスに似た声質からインスパイアされた楽曲です。

過去との決別、これから始まる未来に託す心境を彼女本人が歌詞にしました。

作詞：天野なつ、作・編曲：松尾宗能

Bass,Guitar,Programming:松尾宗能

Drums,Percussion,Programming:チャン

Track 2 Restart

LinQ二代目リーダー天野なつ卒業公演の為に書き下ろした楽曲。

卒業していく寂しさはあるけれども前向きで、悲しいバラードにはしたくないとの意向の元、ミッドテンポのビンテージロックな仕上がりに。バッドフィンガー、パイロット、ラズベリーズ、後期ビートルズなどを意識したハードでいて甘く切ない雰囲気、彼女のハスキーな声と少年っぽさにうまくハマりました。

作詞：天野なつ、作・編曲：松尾宗能

Bass,Synthesizers,Programming:松尾宗能

Guitar:長瀬五郎

Track 3 Secret 703

20代半ばを迎える女性の柔らかな情熱と、失った過去への憧憬を歌った切ないソウルナンバー。70sニューソウル、またフリーソウルやシティポップの軽やかさ、胸アツな表現も、爽やかでナチュラルな彼女のボーカルスタイルによく似合っています。

ギターとコーラスで参加している、シティポップバンド「カンバス」の小川貴史とのデュエットも聴きどころ。

作詞：スセージーナ、作・編曲：松尾宗能

Bass,Programming,Organ:松尾宗能

Guitar,Chorus,Vibraphone:小川貴史

E.Piano:太田洋平

Drums,Percussion,Programming:チャン